



英語がもっと好きになる!

ALTの活動を紹介します

稲城市では、令和7年度より「第1種会計年度任用職員」としてALT(Assistant Language Teacher)を採用しました。ALTは授業以外の時間でも幅広い教育活動を行っています。

「いなぎALTイングリッシュフェスタ」Was A Huge Success!

8月23日(土)、向陽台小学校体育館にて「いなぎALTイングリッシュフェスタ」を開催しました。午前の部と午後の部を合わせて、未就学児39人、小学生85人、中高生8人、大人117人、合計249人にご参加いただきました。

イベントの運営には、稲城市統括学校支援コンシェルジュ西田和弘さん、向陽台地区を中心とした英語ボランティアの皆様、学校支援コンシェルジュの皆様、株式会社アチーブゴールのご協力をいただきました。イベントでは、アルファベット配列クイズやなしのすけ探しゲーム、稲城市クイズ、買い物ゲーム、スイカ割りゲームなどが行われました。

参加者からの声

- 「ALTやボランティアの方たちが英語でフレンドリーに話しかけてくれたことで、シャイな子どもが英語を口にするのができた」
- 「親子で楽しむことができた」
- 「普段使う機会が少ない英語を気軽にアウトプットできる機会をもっと増やしてほしい」



イングリッシュフェスタの様子



なしのすけ探しゲーム



買い物ゲーム



スイカ割りゲーム

稲城市職員の英語対応研修

8月8日(金)、稲城市職員を対象に、ALTを活用した英語対応研修を実施しました。

午前の部では、避難所運営に携わる職員が、外国人に対する避難所での案内を想定した訓練を行いました。ALTが避難所者役となり、受付用紙の記入方法や避難所での過ごし方等を英語で説明しました。また、タブレットの翻訳アプリを活用しながら質問に対応する訓練も行われました。午後の部では、部長職を対象に、基礎的な英単語をもとにした英会話レッスンを実施しました。



職員が受講している様子



タブレットの翻訳アプリを使った訓練

稲城第四小学校・平尾小学校「小学校特別プログラム」

夏休み中、稲城市内小学校で英語を楽しむ特別プログラムを開催しました。

8月22日(金)、稲城第四小学校は「English Day」を実施し、ALTの6名も協力し、英語を使った体験活動に挑戦しました。「飛行機で世界の旅」をテーマに児童たちはパスポートやチケットを手に海外旅行気分を味わいながら、自己紹介やゲーム、かき氷作りなどを楽しみました。

8月25日(月)、平尾小学校は、平尾小学校PTA有志の会「ミライ地球人くらぶ」のサポートのもと、「宿題やろう会」と「英語の先生と遊ぼう会」の2つのイベントを開催しました。図書室で宿題を終えた児童たちが体育館に移動し、ALTと英語遊びを楽しむ形で実施し、じゃんけんやゲームを通じて自然な英語に触れる時間を過ごしました。

どちらのイベントもALTの方々や友だちとの触れ合いを通じ、英語への親しみを深めるきっかけとなりました。



English Day (稲城第四小学校)



英語の先生と遊ぼう会 (平尾小学校)

梨の実ルーム、夏の英会話交流会

7月24日(木)と8月26日(火)に、複合施設ふれんど平尾内にある「梨の実ルーム」に通う児童生徒とALT2名による英会話交流会を行いました。

英語での自己紹介後、フィリピンの文化について学び、クイズやゲーム、ランチを通じて交流を楽しみました。「梨の実ルーム」では、さまざまな理由で登校に困難を感じている児童生徒に対して、学びの場を提供し、社会的自立に向けた支援を行っています。

ALTの工夫により、児童生徒たちは積極的に英語を使った交流を体験することができました。

稲城第三小学校「English Radio Show」

毎週木曜日の給食時間に「English Radio Show」を放送しています。10分間のラジオショーは、ALTと児童が協力して制作し、英語に触れる楽しい時間として人気です。

児童との対話や音楽、クイズやゲームなど内容は多彩で、録音・編集された工夫も見られます。

9月は「フィリピン」、10月は「ハロウィン」といった月替わりのテーマも、児童に英語と世界への関心を広げるきっかけとなっています。

教育長コラム

No.11



広く、豊かに、
しなやかに

「まだない未来の仕事を考えよう」このような問いを投げかけられたら、あなただったら、どんな「仕事」を創り出しますか？

この課題に、8月6日・7日、「EXPO 2025 大阪・関西万博」の会場で開催された「FUTURE SUMMIT 国連を支える世界子ども未来会議」に集まった子ども達が取り組みました。このイベントには、昨年度の「世界子ども未来会議」(一般財団法人ピースコミュニケーション・財団と各自治体の主催)において、稲城市からの代表生徒(本市代表4名は昨年度小6生、現在は中1生を含む、各地区大会の最優秀グループとなった子ども達)が出演しました。子ども達は、本年3月の「全国大会」後、地域を越えて4人グループを再編、約4か月をかけリモートによるグループワークを重ね、課題への解決策を創り出し、万博当日、この場に臨んだのです。

「このチームは、「世界の人口は増え続けている」↓「農場地帯を建設しなければならぬ」という過程を踏みながら、宇宙開発を実現させる」新たな仕事を発想したのでした。このように、当日は、世界から集まった子ども達から、未来の世界に向けた様々な提案がなされました。いずれのグループも、「今社会に不足しているものは何か」「今不便なことはどんなことか」に視点を当て、その解決策を生み出す中で、新たに人間が活躍すべき分野を見出し、「今はまだないけれど将来の社会をよくしていく仕事」を提案したのでした。社会課題を踏まえた上で今後の動向を捉え、課題解決のために世の中には何がプラスとして必要かに着目し、グローバルな視点をもった全体像と、実現のための具体的プロセスというしつかりとした構想に基づき、ビジュアルで見事な発信の数々が披露されました。

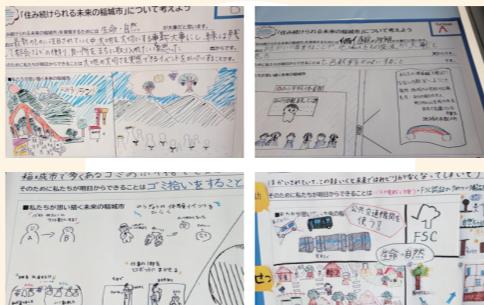
子ども達の発想と視点に感動しながら参観を終えた私は、「将来の進路を、今ある職業の中からのみ選択する時代は終わつた」との思いを深めながら、帰京の途に就きました。また、この万博イベントの後、8月21日(木)、本市では、今年度の「世界子ども未来会議 in INAGI」を開催しました。テーマは、昨年度と同じく、「住み続けられる未来の稲城市」です。各市立小学校から2名ずつ選出された第6学年児童計24名の皆さんが、異なる学校の初対面同士で4人グループを編成し、意見交換や合意形成を経て創り出したアイデア集です。この作業においては、まず、グループ内で各自が「大切にしたい価値観」を発表し合い、各グループに付いてくださった「コミュニケーション・サポーター」の方々の支援を受けながら、各自のアイデアの共通項を見出したり新たな策を生み出したりしながら、グループとしての具体的な方策を創り出しました。

今夏開催した、「世界子ども未来会議」に関連するこれら2つのイベントでは、子ども達が、社会や世界に視点を当て、人々がさらに過「しやすくなるための方策」について思考を巡らせ、新たなチャレンジについて提案する姿がありました。現実の「枠」を超え、未知の分野を開拓していくというクリエイティブな発想力は、これからの「VUCAの時代」と言われる「予測不可能な時代」に必要とされ、活躍する、重要な資質と言えるでしょう。稲城の子ども達が、視点や考えを広げ、新たなものを生み出す創造力、企画力、柔軟性をもち、広く、豊かに、しなやかに、物事に対応できる資質を備えてほしい、といったことを考えながら、夏の終わりを迎えました。

その後、8月末、稲城市教育委員会は、「稲城市学校・乳幼児施設管理職&リーダー研修会」を開催、「非認知能力の育成」をテーマに、本市の子ども達の成長を図るという共通の目標をもつ、各園と各学校のリーダー層の教職員が一堂に会し、学び合いました。講師は、奈良県三宅町立三宅幼稚園長を務められている徳留宏紀先生です。公立中学校・海外の高等学校での教員経験をもち、現在は就学前の子ども達を育成され、また、「非認知能力」について全国的に活躍中の徳留先生から、「未来を



「稲城市 学校・乳幼児施設 管理職 & リーダー研修会」の様子



「世界子ども未来会議 in INAGI」発表ボードの一部

見据えたときに本当に必要な、客観的な数値で測ることができない力」として、「コミュニケーション能力」「自制心」「レジリエンス」「向上心」「自尊心」「柔軟性」をお示しいただき、伸長させるための方策等、貴重なご教示をいただきました。教育委員会は、今後も引き続き、「これからの時代に活躍する力」に視点を据え、子ども達の活動の充実とともに、大人の間でも研鑽を深め、実践に繋いでまいります。同時に、私達人間同士も、広く、豊かに、しなやかに、自らの人生を歩みつつ、子ども達を見守り支援していきたいものと思います。

稲城市教育委員会教育長 杉本真紀子

「稲城市地域・教育フォーラム」を開催します

「稲城市地域・教育フォーラム」を開催いたします。第1部では、稲城市の子どもたちに関わる団体・組織・学校・園の一体的な取組や実践の成果について、団体の皆さんが発表します。第2部では、講師をお招きし、「持続可能な地域とともにある学校づくり」について、対談型講演会を行います。

市内在住・在学・在勤問わず、どなたでも参加できます。日時：令和8年1月24日(土) 午後1時30分~4時30分(開場1時) 会場：中央文化センター ホール

- 第1部：【発表】稲城市地域教育懇談会(稲城市の地域教育団体等)による活動内容
- 第2部：【講演会】講師 吉岡 拓也氏 文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課地域学校協働推進室 地域学校協働推進係 専門職
- 講師 市川 重彦氏 社会教育士(埼玉県公立小・中学校 校長)



昨年度開催の様子

【稲城市地域教育懇談会】

稲城市地域教育懇談会とは 稲城市地域教育懇談会は、稲城の子どもの心身共に健全な成長を期するという理念に基づき、家庭、学校、幼稚園、保育園、認定子ども園や地域の各団体・関係者が連携して健全育成のための情報共有や活動を行うことにより、地域社会に根ざした教育力の充実を図ることを目的として40年間に渡り実施されています。

主な活動内容 6つの中学校ブロックにおいて、それぞれ1年間の活動テーマを設定し、定例会の中で情報を共有して話し合ったり、地域協働の活動に取り組んだりしています。また、各ブロックの代表が集まり、市内の地域教育懇談会の情報共有を図る場として、ブロック連絡会を開催しています。

▷問合せ 指導課指導係

グローバルスタディプログラム 「小中学生英語スピーチコンテスト」を開催します

稲城市教育委員会では、今年度も「稲城市グローバルスタディプログラム」の一環として、「小中学生英語スピーチコンテスト」(共催 東京稲城ロータリークラブ)を開催します。このイベントは、市内の小学校5・6年生の児童と中学生なら誰でも申し込むことができる、ワクワクする英語チャレンジです。

テーマは、例えば、「My favorite sports」や「What peace means to me」など、自分の好きなことや考えを英語で伝える絶好の機会です。スピーチは、ALTや学校の先生のサポートを受けながら準備を進めるので、初めての挑戦でも安心です。小学生は1分以内、中学生は3分以内で、自作のスピーチを披露します。また、8月6・7日に、「EXPO 2025 大阪・関西万博」の会場で開催された「FUTURE SUMMIT 国連を支える世界子ども未来会議」での活動の様子や内容について、参加した令和6年度代表生徒の報告も予定しています。

日時：12月13日(土) 午後1時30分~5時30分(開場1時) 会場：地域振興プラザ 4階 会議室 審査員：東京外国語大学 大学院総合国際学研究院 教授 岡田 昭人氏 他4人 どなたでも自由に観覧いただけます。ぜひお越しください。

▷問合せ 指導課指導係

大空町に行ってきました

8月19日(火)～8月21日(木) 稲城市立小学校5年生

稲城市立小学校の5年生35名が、稲城市の姉妹都市である北海道大空町を訪問し、2泊3日の教育交流を行いました。稲城市と大空町は昭和63年から児童の作品交流を中心に交流を始め、平成3年に姉妹都市提携を結びました。以来、夏には稲城市の児童が大空町を訪れ、冬には大空町立女満別小学校の児童が稲城市を訪れるという教育交流が続いています。本交流は、地域や国際社会を担う広い視野や豊かな感性を育むことをねらいとしています。

<1日目>

稲城市を出発し、羽田空港から女満別空港へ到着しました。女満別小学校での歓迎式・ホームステイ先との対面式の後、各家庭での宿泊が始まりました。夜には、満天の星空を眺め、天の川を見つけた児童もあり、自然の雄大さに感動しました。



<2日目>

歓迎集会の後、女満別小学校の児童と一緒に「畑作コース」「畜産コース」に分かれて交流学習を行いました。畑作では広大な畑でジャガイモ掘りを体験し、収穫したジャガイモから作られたポテトチップスなどのお土産をいただきました。畜産では牛舎見学や搾乳体験、子牛への授乳など、都会では得られない体験ができました。交流給食で交流を深めた後は、パークゴルフやバターづくりにも挑戦しました。

<3日目>

「北方民族博物館」ではアイヌ文化を含め北方民族の生活を学び、「オホーツク流氷館」ではクリオネやオオカミウオといった珍しい生き物を観察しました。「しばれ実験」では濡れたタオルが瞬時に凍る様子に驚きの声が上がりました。さらに道の駅や東藻琴乳酪館を訪れ、各所で味わったソフトクリームの美味しさも忘れられない思い出となりました。

多くの児童が一番の思い出として挙げていたのは、ホームステイ先の家族や女満別小学校の友達など、多くの人々の温かさに触れることができた経験でした。また、稲城市の児童同士の仲も深まりました。北海道での生活と稲城市の生活を比較することを通して、ESDの視点から持続可能な社会を考える学びも深まりました。

来年1月には、女満別小学校の児童が稲城市を訪問します。心を込めたおもてなしをし、稲城の良さを伝えることで、ふるさとを再認識する機会となるよう取り組んでいきます。

▷問合せ 指導課指導係

「国連を支える世界こども未来会議 in INAGI」を開催しました

8月21日(木)、地域振興プラザ及び稲城市議会議場において「国連を支える世界こども未来会議 in INAGI」(共催 一般財団法人ピースコミュニケーション財団)を開催しました。

この会議には、市立小学校にて1学期中に事前学習シートによる学習を行い、市立小学校12校の6年生代表24名が選出され、参加しました。今年も「住み続けられる未来の稲城市」をテーマに、6グループに分かれてディスカッションをし、アイデアを出し合い発表を行いました。また、令和6年度の本会議で最優秀賞を受賞したグループのメンバーから、今年5月にキッズアンバサダーとしてニューヨークの国連本部を訪問した際の報告がありました。

各グループは初対面ながらもチームワークを活かして発表を行い、活発な質疑応答が展開されました。

稲城市開催の詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



市ウェブサイト



第1部グループディスカッション



第2部発表

▷問合せ 指導課指導係

オンライン英会話レッスン始動

令和7年9月から、市立中学校2年生を対象に、オンライン英会話の授業が始まりました。

この授業では、タブレット端末とヘッドセットを使い、フィリピンの講師とのマンツーマン形式で英会話を行います。生徒たちは初めは少し緊張した様子もありましたが、時間が経つにつれて表情が柔らかくなり、積極的に話そうとする姿が見え、前向きな変化がたくさん見られました。

フィリピンの講師の先生方からは、「声が大きく話せるようになるのはとても良いことですね。」などのお言葉をいただきました。また、英語科の先生からは、「文法も大事ですが、チャレンジして話してみることは、英語を学ぶ上で大切なことです。」と、生徒に自信をもって話すことの大切さを伝えていました。

なお、このオンライン英会話レッスンは、年間5回の実施です。

▷問合せ 指導課指導係



オンライン英会話レッスンの様子

秋季運動会が開催されました

市立小中学校18校のうち、稲城第一小学校、稲城第二小学校、稲城第四小学校、稲城第六小学校、稲城第七小学校、向陽台小学校、城山小学校、長峰小学校、若葉台小学校、南山小学校の10校が10月に、運動会を実施いたしました。どの学校も当日は多くの保護者や来賓の方にご参観いただき、児童は力いっぱい競技、演技に取り組んでいました。また、東京2025世界陸上で実際に使用されたバトンを使ったリレーが行われました。

運動会を通じて、子ども達は自分の目標に向けて努力することや、友達と協働して競技や演技に取り組むことの大切さを学びました。

▷問合せ 指導課指導係



教育委員会児童・生徒表彰の推薦を受け付けています

教育委員会による児童・生徒表彰を実施します。推薦基準に該当する成績等がある方は、申請用フォームよりご申請ください。

【表彰基準】

次のいずれかに該当すると委員会が認める個人又は団体
(1)人命救助又はこれに類する行為を行った者
(2)ボランティア活動等を自発的に行い、他の模範となるべき行為のあった者

(3)学術・文化・スポーツ活動において、著しい成果を収めた者

(4)前各号に掲げるもののほか、特に表彰することが適当と委員会が認めた者

なお、令和7年度表彰分より表彰要領が変更となっています。



申請フォーム

▷問合せ 教育総務課教育総務係

主な変更点について

変更点1 推薦方法

学校長推薦
↓
保護者・団体の代表者・学校長

原則、保護者が申請フォームにて申請を行う形へ変更します。

ただし、部活動や生徒会活動等については、従来どおり、学校を通じての推薦となります

変更点2 表彰対象

ボランティア活動の追加
生徒会活動等の追加

表彰基準(2)模範行為について、ボランティア活動(環境美化・福祉・地域貢献・伝統文化等)を対象とします。

また、生徒会活動などの学校活動についても、他の児童生徒・地域に良い影響を与えた活動は、表彰の対象となります。

変更点3 表彰対象期間

4月1日から3月31日まで
↓
1月1日から12月31日まで

表彰の対象期間を「1月1日から12月31日まで」に変更します。

令和7年度については、「令和7年4月1日から令和7年12月31日まで」となります。

中学3年生については、在学中の表彰とするため、3月31日までの期間となります。

小学1年生については、在学中を対象とするため、4月1日からとなります。

教育委員会の動き

第8回定例会 8月5日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)
稲城市立図書館設置条例の一部を改正する条例の制定依頼について、稲城市立図書館の指定管理者の指定について、令和8年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択について
3. 報告事項

第9回定例会 9月11日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)
令和7年度稲城市教育委員会職員の仕事について、稲城市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則
3. 議案(承認)
専決処分の承認を求めることについて(稲城市立稲城第三小学校舎建替及び(仮称)稲城市第三小学校学童クラブ建設工事請負契約について)
4. 報告事項

第10回定例会 10月14日

1. 議席の決定
 2. 教育行政報告
 3. 議案(可決)
稲城市立公園に設置する稲城市立中央図書館城山体験学習館の管理運営に関する条例施行規則の一部を改正する規則
 4. 報告事項
- ▽問合せ 教育総務課教育総務係

「稲城市立中学校部活動に関する方針」を策定しました

稲城市は、教職員の働き方改革を図りつつ、現在の「部活動」を維持していきます。そのため…
→各部活動には、顧問教員またはCST(Club Support Teacher:管理顧問教員)が関わります。

⇒技術指導者(部活動指導員、外部指導者)の配置について、引き続き人材確保に取り組みます。
⇒部活動の体制は、次の4パターンで実施します。
「単独部活動」「合同部活動」「拠点校方式部活動」「地域クラブ展開」



↑詳しくはこちら



田中教仁氏

9月30日で任期満了となった教育委員会委員の田中教仁氏は、第3回市議会定例会で同意を得た後、市長の任命を受け、再任されました。任期は10月1日から4年間で、

▽問合せ 教育総務課教育総務係

教育委員会委員に再任

稲城第三小学校建替工事が始まりました

10月1日(水)、稲城第三小学校にて起工式が執り行われました。今後、新校舎の建築工事後、旧校舎の解体工事が実施されます。工事期間中には近隣住民の皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。



新校舎イメージ(外観)



新校舎イメージ(教科メディアスペース)

▽問合せ
学校関係 教育部教育総務課学校管理係
学童関係 子ども福祉部児童青少年課児童館・学童クラブ係
工事関係 都市建設部建築保全課建築係

第三次稲城市立学校における働き方改革実施計画検討委員会の開催

稲城市教育委員会では教員の働き方改革を推進しています。令和8年度からの「第三次稲城市立学校における働き方改革実施計画」に向けて、学識経験者や学校関係者等で構成する検討委員会が開催され、策定に必要な調査及び検討が行われました。

社会全体のウェルビーイングを達成するため、学校が、持続可能な社会の創り手である子どもたちの育成に対して、より良く取り組める環境を目指してまいります。

市ウェブサイトでは、教育委員会から地域・保護者の皆様へのメッセージをはじめ、稲城市立学校における働き方改革の推進に関する資料を掲載しています。



市ウェブサイト



会議開催の様子

▽問合せ 教育総務課教育総務係

第二調理場の調理機械を更新しました！

スチームコンベクションオープン



平成11年4月から稼働している第二調理場では、稼働当初から使用しており修理が不可能となっていた「スチームコンベクションオープン」と「真空冷却機」を夏休みに更新しました。

調理機械を新しくしたことにより、魚や肉などの「焼く料理」は蒸気が食材の中により多く入り、ふっくらと仕上がるようになりました。サラダや和え物などの「冷たくして提供する料理」は、「シャキッと」した歯ごたえになり、より美味しく提供できるようになりました。

また、機械が新しくなったことで、故障が減り、学校給食を安定して提供することができるようになりました。

今まで以上に美味しく調理できるように調理員一同丸となって給食を調理しています。生産者の方々、配送員や配膳員、そして調理員など給食に関わっているたくさんの方、また、自然の恵みや命をくれる生きものへの感謝の気持ちを忘れないでいてもらえたら嬉しいです。

真空冷却機



【スチームコンベクションオープンを使用した献立】

- 9月4日(木)
- ココアパン(食パン)
- 牛乳
- あじの香草焼き
- (↑スチームコンベクションオープン使用)
- 野菜スープ
- ペンネアラビアータ



9月4日(木)の給食

【真空冷却機を使用した献立】

- 9月8日(月)
- チキンカレー(麦ご飯)
- 牛乳
- フレンチサラダ
- (↑真空冷却機使用)



9月8日(月)の給食

▽問合せ 学校給食課第二給食係

第四次稲城市教育振興基本計画を分かりやすく紹介

令和7年度から令和11年度までの教育目標を定めた「第四次稲城市教育振興基本計画 稲城市教育プラン」のポイントを分かりやすくまとめました。

また、ポイントをまとめた動画を作成しましたので、あわせてご覧ください。



市ウェブサイト

稲城市の教育「イエール」読者アンケート

皆さんの感謝をぜひお聞かせください。

